

平成 23 年度第 2 回日野市入札及び契約等監視委員会議事概要

開催日時場所	平成 23 年 9 月 29 日（木） 午前 10 時～正午 日野市役所 4 階 庁議室	
出席委員	委員長 西浦 定継（明星大学理工学部教授） 委 員 掛川 亜季（弁護士 りんどう法律事務所） 委 員 飯塚 武 （税理士 飯塚武税理士事務所）	
議事次第 1. 開会 2. 審議事項 （1）抽出案件について（平成 23 年 5 月 1 日から平成 23 年 7 月 31 日までの総務課契約締結分） （2）その他 3. 閉会		
質問・意見		回答
（1）抽出案件について ○審議事項（1）について、抽出方法等の説明を事務局に求める。 ○消防団第二分団第二部詰所器具置場新築工事について ・落札率が 100%と高いが、原因は何か。		・今回の審査対象期間は、平成 23 年 5 月 1 日から平成 23 年 7 月 31 日までとなっています。 この間に総務課で契約締結した案件の総数は 168 件です。このうち、落札率が高いものとして 95%以上を 87 件、また、低いものとして 50%未満のもの 4 件を抽出しています。 なお、落札率が高い方ですが、印刷に関しましては 90%以上のものを抽出することとなっており、6 件を抽出しているところです。 ・総合評価方式で実施しましたが、当初の入札は申請した 3 者とも辞退し、執行し直した 2 度目も 1 者のみでの申請となり入札を執行しました。

・今回、落札率の高い5件は、複数者から申請があってもほとんどが辞退し、結果として1者のみの入札となっている。結果、1者しか残らないような入札では問題もあるのではないかと。積算は適切に行われているのか、公正性・適正性の確保はできているのだろうか、土台がないといびつな物ができてしまう。競り合えるような予算措置はされているのだろうか。 ○日野市立たかはた台保育園大規模改修工事監理業務委託（その2）と消防団第二分団第二部詰所器具置場新築工事監理業務委託について ・保育園は低入札となり消防団は100%に近い落札率となったが、原因は何か。 ○磁気付印刷カードについて ・カード購入が低入札となった理由は何か。 ・3者のうち2者がかなり低い額で入札している。積算段階で過去の情報を利用していないのではなか。	・限られた予算の中での積算となってはいませんが、その中で最良のものを作るように努力しています。 ・保育園の工事監理業務委託は、入札参加資格の地域要件を都内に広げた結果、18者での入札となりました。落札者は当市でも他市でも低入札で落札している「実績」があります。消防団詰所の工事監理業務委託は市内業者2者での入札となりました。大規模改修はいろいろな工事が混在していますが、消防団の工事監理はそれに比べるとシンプルな仕事というのも原因かと思われます。 ・特殊な製品ではないので、原因はよくわかりません。 ・下見積もりを取った上での契約依頼でした。
--	---

○ポンプ部品、自然木檜杭、磁器食器、丸ランチ皿などの購入について ・地域要件を広げても落札率が高くなっている原因は何か。 ○後期高齢者医療保険料預金口座振替依頼書・自動払込利用申込書印刷などの印刷について ・落札率が高くなっている原因は何か。 ・虐待予防医療機関連携事業市民向け啓発冊子別冊（日野市医療マップ）印刷などは、5者とも横並びの額となっているので、落札率が高いというよりは適正だったと言えるのではないか。 ○修繕について ・総契約件数 17 件の内、16 件が高い落札率となっている。原因は何か。 ・予定価格に対して 440%の入札額があるが、これは何か。発注の際の情報提供の	・市内業者だけでは対応できないような製品は、入札参加の地域要件を三多摩以上に広げざるを得ないのが現状ですが、もともと扱っている業者数が限られているため、落札率が高くなってしまうのだろうと見えています。 ・印刷されたものをたたむと郵便物になるような仕様になっているので、入札参加の地域要件を三多摩以上に広げたものですが、特殊な印刷だったため、落札率が高くなったのではないかと見えています。 ・この案件は、92%から 100%に収まっているので、そのように言えると思います。 ・修繕の場合、どの案件も急を要していることが多く、競争性が薄れやすいのではないかと考えられます。 ・発注の際の情報提供は、工種を問わず一律平等に行っていますので、提供の仕方
--	--

仕方に問題はなかったのか。 ○乳がん（集団）検診業務委託について ・落札率が 100%と高いが、原因は何か。 ・入札を適正に執行するという観点で言えば、検診の方法などを考え直す時期なのではないか。 ○ISO/IEC27001 認証審査業務委託について ・ 36.42%の低入札となった理由は何か。 ○バス借上げについて	に問題があったとは考えていません。修繕の場合、現場を確認しないと積算が難しいと思われます。なぜそれだけ高い価額を入れたのか原因はわかりません。 ・ この案件は、検診車にマンモグラフィーを積んでいることが条件になっています。検診業者は、移動検診車の保有を嫌って、固定した場所での検診に流れが変わってきており、発注できる業者そのものが少ないのが現状です。しかも、検診日を仕様書で指定しているので、業者の日程と合わないことも多いということもあります。指名する業者の選定にも苦労しています。 ・ できるだけ多くの方に検診していただきたいと考えると、移動できる検診車ということになってしまいます。また、年度当初にいつ実施するか市民に周知しているため、業者と日程が合わず、入札辞退になるケースもあります。 ・ 落札者は、しっかりした審査をするため、どこからの依頼に対しても高めの積算をして提示していたようですが、会社として方針転換を図り、会社内の積算方法を変えた結果だということでした。
--	--

・ 3 件の内、2 件が落札率 100%となっているが、原因は何か。 ○原材料について ・ 抽出した 4 件中、3 件が落札率 100%、1 件が低入札となっているが、原因は何か。 ・ 発注ミスではないのか。受注する側に正確な情報を伝えなければ、適正な競争にはならないのではないか。 ○備品について ・ 消防ポンプ車や食器消毒保管庫などが高い落札率となっているのはなぜか。 (2) その他 ・ 前回、事務局から、「監査委員から、特	・ 当初予算編成時に、参考見積りを複数者取った中で、一番安い額を採用して積算してほしいという財政事情があると考えています。 ・ 市内業者だけでは対応できないような原材料は、地域要件を三多摩に広げざるを得ませんが、もともと扱っている業者数が限られているため、落札率が高くなってしまおうと考えています。低入札となった案件は、国土交通省で指定された寸法の製品を仕様書で指定しましたが、重量までの指定をしていなかったため、軽量の物が納品された結果です。製品に問題はありません。 ・ 同じ条件で競争見積り合せをしていますので、適正な競争は保てています。ただ、主管課が意図した物と違ってしまった点は、主管課の注意不足です。 ・ 消防ポンプ車は、特殊車両のため、扱える業者が少ないことが原因だと見ています。食器消毒保管庫などは、原材料と同様、扱っている業者数が限られているため、落札率が高くなるのだろうと思われます。 ・ 特にシステム関係においては、業務の安
--	--

命随意契約については監査委員もチェックをしているが、入札・契約等監視委員会でも審議をしていただきたい旨の発言があった。」と聞き、今回、勉強会的に行ってみた。特命随意契約できる事由は限られており、その事由といくつか事例紹介のあった個々具体的な案件の理由とが合致するかどうかの観点で検討を行った。理由の適正さもさることながら、当初、競争に付した案件がその後ずっと特命随意契約で執行されてしまうと契約金額の妥当性がだんだんわからなくなってくる危険性がある。長期にわたる案件ではランニングコスト等を比較して考えることも必要になってくるだろう。引き続き、当委員会としても審議の対象としていきたい。

定性を保つ上で、随意契約を繰り返すことがあります。それでも一定の期間で見直しする必要がある、現に見直しを行っています。理由として適正か、期間として妥当かなど、引き続き審議していただく中で、見直しや是正の意見等をいただければと思っています。